



洛南エリアTOPICS①【洛南身体障害者福祉会館】

春のレクリエーション 伊根町に行ってきました。

5月19日(日)に春のレクリエーションを4年ぶりに実施しました。

行先は舟屋で有名な伊根町です。一度は行ってみたいと思われている方が多かったようで、今回は申し込みが多く、当初12名を予定しておりましたが、車を1台増やし、ご利用者19名、職員4名での出発となりました。

車中ではにぎやかに談笑される中、渋滞することなく定刻通りに到着し、早々に昼食を頂きました。地元の向井酒造の赤米のお酒の酒粕で作ったかす汁、新鮮なお造りを堪能し、「おいしい!」とあちらこちらから聞こえてきました。

昼食後は大半の方が向井酒造に向かわれましたが、昼休憩でお店は締まっており、がっかり・・・ただ、向井酒造のお酒を取り扱っているお店があったので、お酒や酒粕を買い求めることが出来ました。

町内を散策後は、伊根湾めぐり遊覧船です。遊覧船は2階建ての船で、かもめにエサをあげられます。エサのかっぱえびせんを購入して船に乗り込みました。



エサをさしだすとたくさんのかもめが飛んできて、上手にくわえて持っていきます。時々大きなトンビも交じり、身体の大きさや獲物を狙う動きに驚きましたが、皆さん歓声をあげながらえさやりを楽しまれていました。また、船1階の室内ソファに座って舟屋の景色をながめながらゆっくりとされている方もおられ、25分の遊覧でしたが、それぞれ充実した時間過ごされていました。



今回ご参加の皆さんは、普段は会館事業の各種教室に参加をされている方が多く、当日が初めましてどうしの方もいらっしゃいましたが、道中で仲良くなられ、楽しそうに交流しておられました。

次回もご利用者が楽しめて、交流できる場になるよう、秋のレクリエーションも計画してまいります。

(洛南身体障害者福祉会館(会館事業):大西 里美)

京都府共同募金会様、MKチャリティカップ事務局様から 福祉車両購入助成金を贈呈いただきました。

この度、京都府共同募金会様を通して、第16回MKチャリティカップの収益金から、洛南身体障害者福祉会館(多機能型事業)に福祉車両購入助成金を贈呈いただくことになりました。

MKホールディングス株式会社様におかれては、京都府下の障害者福祉の向上を目的として、プロアマオープンボウリングトーナメント、MKチャリティカップを毎年開催されています。



5月13日には、同会館で京都府共同募金会常務理事松田様、エムケイホールディングス株式会社取締役管理本部長松川様、MKボウル専属プロボウラー平山様ご臨席の下、多機能型事業のご利用者も数名参加され、贈呈式を挙行いただきました。そして、贈呈式終了後は、多機能型事業の活動を見学されました。



第1回大会から16回大会までの寄付金累計額は1億2,000万円を超えております。京都府共同募金会様、MKホールディングス株式会社様、公益社団法人日本プロボウリング協会様をはじめとする協賛各社様、すべての皆様の尊いご活動に、心から敬意と感謝の意を表します。

購入させていただく福祉車両は、洛南身体障害者福祉会館を日頃からご利用いただいております利用者の皆さん、地域の皆さんの福祉の向上に大いに活用させていただきます。

京都府共同募金会様、MKホールディングス株式会社様、誠にありがとうございました。

(洛南身体障害者福祉会館(多機能型事業):安江 朋香)

伏見TOPICS 【京都いたはし学園】

「年度末お疲れ様会」を開催しました！

3月20日（祝）に「年度末お疲れ様会」を開催しました！

午前中は翌日の生産準備や清掃などの作業をしていた後、昼食に焼き肉の食べ放題に行ってきました！

食事の前に1年間頑張った話や来年度頑張りたいこと等の話をして盛り上がっていましたが、いざ焼き肉の食事会がスタートすると多くの方が無言で、集中して肉を食べておられました。職員も肉を焼くお手伝いをしていましたが、序盤は全く追いつかず・・・時間ぎりぎりまで食事を満喫されておられました。



普段から作業を頑張っている皆さんに少しでも充実した余暇を過ごしていただけるよう、今後も楽しいレクリエーションを企画していきたいと思います。

（京都いたはし学園：太田 敦之）

イベント販売（東九条春まつり）に参加してきました！

4月20日（土）に行われた東九条春まつりに参加しました。

昨年に比べ出店数も多く飲食も解禁になり、にぎやかでたくさんの方が来場されていました。この日は晴天に恵まれ春まつり日和でした。海外の方も多く出展され異文化も感じられました。



参加された利用者さんもアジア風屋台の料理を楽しんだり、他施設の方と交流出来たりと販売だけでなく地域交流も図れるよい機会となりました。持って行ったパンや菓子も完売することができ、一生懸命作ったパンが多くのお客様に買って頂けることはうれしく、仕事のやりがいも感じました。

社会に活気が戻ってきた様子で、これからも多くのイベント販売に参加し、頑張っていきたいと思えます。

（京都いたはし学園：浅井田 淳子）

山科エリアTOPICS 【山科身体障害者福社会館】

令和6年度 新しい講座始まりました！

山科身体障害者福社会館では、令和6年度の定期講習会として、カラオケ教室が復活し、新しく3つの講座、フラダンス講習会、笑いヨガ講座、パステルアート講座を開催しています。

フラダンス講習会は第1・3月曜日14:00～14:50に開催し、ハワイアンミュージックに乗せて、気分はハワイで、フラダンスを踊ります。

もちろん椅子に座ったままでも可能です。



笑いヨガ講座は、第4月曜日14:00～14:50に開催しています。笑いヨガとは、体操として笑う、笑いの健康体操です。グループエクササイズとして始まった笑いヨガは、お互いの笑いの伝染力を発生させ、笑える体に整える運動のことです（日本笑いヨガ協会ホームページより）。

パステルアート講座は、現在のところ講師の先生と相談して開催日を調整しています。

パステルアートとは、パステルというカラフルな画材を使って描くアートのことです。方法として、粉末状のパステルをコットンに付けて塗り、重なった所をグラデーションとして表現したり、綿棒に付けてそのまま描いたり、パステルであらかじめ塗りつぶしたところを消しゴムで消して表現することもできます。



参加については、どの講座も少しの空きがありますので、ご希望がありましたらお気軽にお問い合わせください。

（山科身体障害者福社会館：井上 光典）

山科区内にある 子ども食堂について

今回は山科区内の子ども食堂の紹介です。

子どもの貧困や孤立を背景に、京都市内では約 190 箇所の「子ども食堂」や「学びの場」等の子どもの居場所、また子どもや子育て家庭を見守り支える取り組みが広がっています（令和 5 年 12 月のデータ）。

山科区内では、令和 6 年 5 月現在 11 箇所の子ども食堂があり、山科青少年活動センターが中心となって子ども食堂や子どもの居場所づくりの応援や周知活動をされています。

山科で子ども食堂を運営する団体は、地域の団体、就労継続 B 型事業所、高齢者施設などで、それぞれの団体が継続できる範囲で食堂を運営されています。

山科青少年活動センターの Facebook に以下のように周知されています。

まちのちゃぶ台ネットワーク 山科の取り組み

「子ども食堂」の
スタートアップ支援

ヒトとヒトをつなぐ

- 「子ども食堂」を始めたい
- 「子ども食堂」を手伝いたい
- 「子ども食堂」を応援したい
- 「子ども食堂」の運営で相談したい
- 「子ども食堂」のことを知りたい

ネットワークでは
「子ども食堂」に関心を持つ
ヒトが集まります。

メールでお互いの情報や発信を
お届けします。

**「子ども食堂」運営に
役立ててください**

- 食材や食品を配布します
- 「子ども食堂」の会場を紹介します
- 活動の運営資金を助成します
- 協力するヒトを紹介します
- 運営について相談できます

大人カフェ

「子ども食堂」をもっと知ってもらうために「大人カフェ」という講演会や情報交換会を定期的に開いています。興味ある人はどなたでも参加できます。

- 「子ども食堂」の運営者の話をさく
- 「子ども食堂」の現状を知る
- 「子ども食堂」の理解を深める
- 「子ども食堂」を始める仲間と出会う

ご寄付について

皆さんからの寄付が「子ども食堂」運営に役立っています。

- 食材や食品
- 活動資金

寄付はネットワークに登録している「子ども食堂」に届き、

- 食材や調理器具の提供
- 「子ども食堂」の立ち上げの支援
- 地域の食堂全体の広報PRなどに活用されます。

まちのちゃぶ台ネットワーク 山科

「子ども食堂」を開きたい人、手伝いたい人、食材や資金の応援をしたい人が身近にいます。

また、子ども・若者たちの学習面を応援するボランティアな活動も広がっています。山科区内でお互いが気軽につながれる仕組みを作ろうと思い、活動を始めました。

この会は、山科で暮らす子どもや若者のことを気にかけている人たちが交流し、お互いの活動が運営しやすいように応援しあうことを目的に生まれたネットワークです。

山科の「子ども食堂」
11 軒
掲載
「**らくとう**」がつかえる
お店は **6** 軒

ネットワーク全体の
提供食数
約 **300** 食

2024年3月31日
現在の活動状況です

事務局・お問い合わせ

京都市山科青少年活動センター

〒607-8086 京都市山科区竹園四丁野町42

TEL: 075-593-4911

FAX: 075-593-4916

このマップは、京都市山科青少年活動センター運営協会の助成をいただいて発行しています。

1 笑人カフェどんげね? ~子ども食堂~

日程: 月1回、土曜日午後 12:00~13:30
場所: 笑ふらや入舟ちやう(Wa-Road 山科区日ノ岡土町43-14)
対象: ハンディのある方とその家族、支援者のみ
費用: 子ども200円、大人寸志
定員: ご確認ください

2 泉ハッピー食堂

日程: 毎月第4土曜日 12:00~14:00
場所: KYOTO原チャージャー 山科区西野塚本町10-4
対象: 中学生まで子ども、また、どなたでも
費用: 子ども100円、大人300円
定員: 45食

3 桜みんカフェ

日程: 毎月第3土曜日 14:30~16:00
場所: 桜辻団地集会所 山科区桜辻西浦町41-85
対象: どなたでもお越しください
費用: 手作り菓子10~100円程度、弁当販売大人300円、子ども100円、ドリンク無料セルフサービス

4 子ども食堂 ゆたか

日程: 毎週土曜日 11:45~12:45
場所: 伊ばた ゆたか 山科区御幸平田町129番地 トレジャーマンション1階南側
対象: どなたでも
費用: 子ども100円、保護者100円
定員: 60食

5 子どもお弁当食堂 「サンフラー」

日程: 第1土曜日 11:30~12:30
場所: 山科区東野目台手町13-31
対象: どなたでも
費用: 子ども100円、大人300円
定員: 30~50食

6 このまちしょくどう (お弁当販売)

日程: 毎月第2土曜日 12:00~13:00
場所: 古跡公園建設(山科駅前) 山科区東野中井ノ上町19-42
対象: どなたでも
費用: 子ども(大学生まで)100円、大人300円
定員: 35食

7 にじいるキッチン

日程: 第3土曜日 11:30~13:00
場所: 西本願寺山科別院 山科区東野御殿町2番地
対象: どなたでも
費用: 子ども100円、大人300円
定員: 30~40食

8 みんなの家 あのお食堂

日程: 毎月第3水曜日 17:00~20:00
場所: 山科区桜辻事務所1-3
対象: どなたでも
費用: 子ども(小学生以下)100円、大人300円
定員: 20食

9 山科ひまわり食堂

日程: 毎月第4金曜日 17:00~18:30
場所: 香東園やましな内 TSUBAKI 山科区西野野色町15-88
対象: どなたでもどうぞ
費用: 子ども(20歳まで)100円、大人300円
定員: 30食程度

10 やませい食堂

日程: 毎月第2火曜日 18:00~20:00
場所: 京都山科青少年活動センター 山科区竹園町下町42
対象: 中学生から30歳までの青少年
費用: 200円(べる)
定員: 20食

11 ミナソノシタ 防災フードシェアリング

日程: 毎月第3土曜日 10:00~11:00
場所: はいから福ふどう産売ガレージ内 山科区豊楽寺下ノ高塚町12
対象: どなたでも
費用: 無料
定員: 予約15セット、当日分(15セット程度)

やましなの 子ども食堂MAP

このマークがついている場所は地域通貨「べる」がつかえます。詳しくは右のQRコードをチェック☆

「子ども食堂」は 子どもも来られる食堂です

名前は「子ども食堂」ですが・・・子どもしか使えない食堂ではありません。いろいろな年代の人が一緒に食事する「子ども食堂」が多いかもしれません。自分に合った時間、都合の良い場所を選んでください。

「子ども食堂」によって予約が必要となる場合も、行く前に確かめると安心です。

山科区は、子ども若者に関わる取り組みを、行政や社協が応援し、地域団体が積極的に実施している印象を受けます。

地域の子どもたちや、子育て世帯のために、地域の人たちが資源をつくっているということはとても素晴らしいことだと思います。

「らくとう」では、フードバンクとつながりのある就労系施設から、食材や日用品を不定期にいただき、「らくとう」に相談のある方で、物資提供が必要な方（主に子どもがいる世帯）にお渡しをしています。食堂とまではいきませんが、子どもの貧困や地域とのつながりというところで、継続できるやり方で今後も実施していこうと思っています。

『社会福祉法人における公益的な活動』と言われると、少し仰々しい印象を受けますが、このような無料の物資提供（＝フードパントリー）も公益的な活動になります。実施する施設や職員の負担にならない程度の社会貢献について、法人内でも考える機会を持ちたいと、山科の子ども食堂の取り組みから感じるようになりました。

（東部障害者地域生活支援センター「らくとう」：山下 笑子）